

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) 旭化成株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 日比谷三井タワー	
本票作成	部署名：製造統括本部 水島製造所 環境安全部 環境グループ				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	石油化学系基礎製品製造業・プラスチック製造業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	旭化成株式会社【B地区】		岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
	②	(以下を含む)			
	③	P S ジャパン株式会社 B地区		岡山県倉敷市潮通三丁目13番地	
	④	旭化成株式会社【C地区】		岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-11	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 6 年度 ~ 令和 8 年度 (3 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 0.1 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							○
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)			目標年度 (令和 8 年度)					
	788,701 t CO ₂			788,000 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 5 年度) の排出量					
	①	旭化成株式会社【B地区】		788,701 t CO ₂					
	②	(以下を含む)		t CO ₂					
	③	P S ジャパン株式会社 B地区		t CO ₂					
	④	旭化成株式会社【C地区】		t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 5 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

2021年度から検討している、全社目標達成のためにテーマアップした件名により、目標年度に達成の可能性のあるものを抽出し、2030年度に向けての経過目標として設定した。現在はGHG削減に向けてエネルギー効率化施策の要素技術開発を進めつつ、各施策の実行可否・実行時期を見極め中。詳細検討はこれからであり、現段階での期待値であることを補足する。

【目標削減率達成のための推進体制】

環境安全推進体制：旭化成グループ環境安全・品質保証委員会およびグループ環境安全・品質保証推進会議委員会・推進会議の役割
 ・旭化成グループ環境安全・品質保証委員会：グループの環境安全・品質保証活動結果について審議する。
 ・グループ環境安全・品質保証推進会議：事業会社等、事業本部等ならびに支社および製造所の環境安全・品質保証上の問題等について審議する。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
1)水島地区 以下、参考 2)延岡地区 3)守山地区 4)川崎地区 5)鈴鹿地区 6)その他全般	水島①高効率ボイラへの更新、省エネの推進 以下、参考 延岡①一酸化二窒素の分解（600万トン削減：二酸化炭素換算） 延岡②ガスタービン式コージェネレーション設備導入 延岡③水力発電所の改修による発電効率改善 守山①ガスタービンコージェネレーション導入による発電効率の改善 川崎①ガスタービンコージェネレーション設備導入 鈴鹿①発泡剤の転換（18万トン削減：二酸化炭素換算） その他全般①スワップ、モーダルシフト、節電活動 等

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
1)水島地区 以下、参考 2)延岡・日向地区 3)守山地区 4)その他全般	水島①検討テーマの詳細検討と提案（テーマ確定次第実施） 以下、参考 延岡・日向①ハイポア工場での生産性向上による省エネ 延岡・日向②延岡(長浜)地区におけるプロセス最適化 守山①生産プロセスの最適化 その他全般①省エネの推進、スワップ、モーダルシフトの推進 その他全般②節電活動の継続、クールビズ推奨期間の設定 （本社・事務所地区） その他全般③P C省電力モード設定の推奨

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	有	宮崎県で「あさひの森」20haで2007年度から植林し、23年度時点では48.52haを植林している。今後、植林を拡大する予定。

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	有	①宮崎県延岡支社では、水力発電およびバイオマス発電の継続。火力発電における石炭からバイオマスへの燃料転換。 ②その他地区へのバイオマス発電展開の検討。 ③その他地区での太陽光発電の導入等。 ④オフサイト太陽光発電導入

【その他特記事項】

<排出量の算出について>
 1) エネルギー起源 : 省エネ活動報告値を使用
 2) その他 : 生産活動に伴う排出量を算出して使用